

新しい交通システムの整備計画案を確認しました！

新しい交通システム ニュース

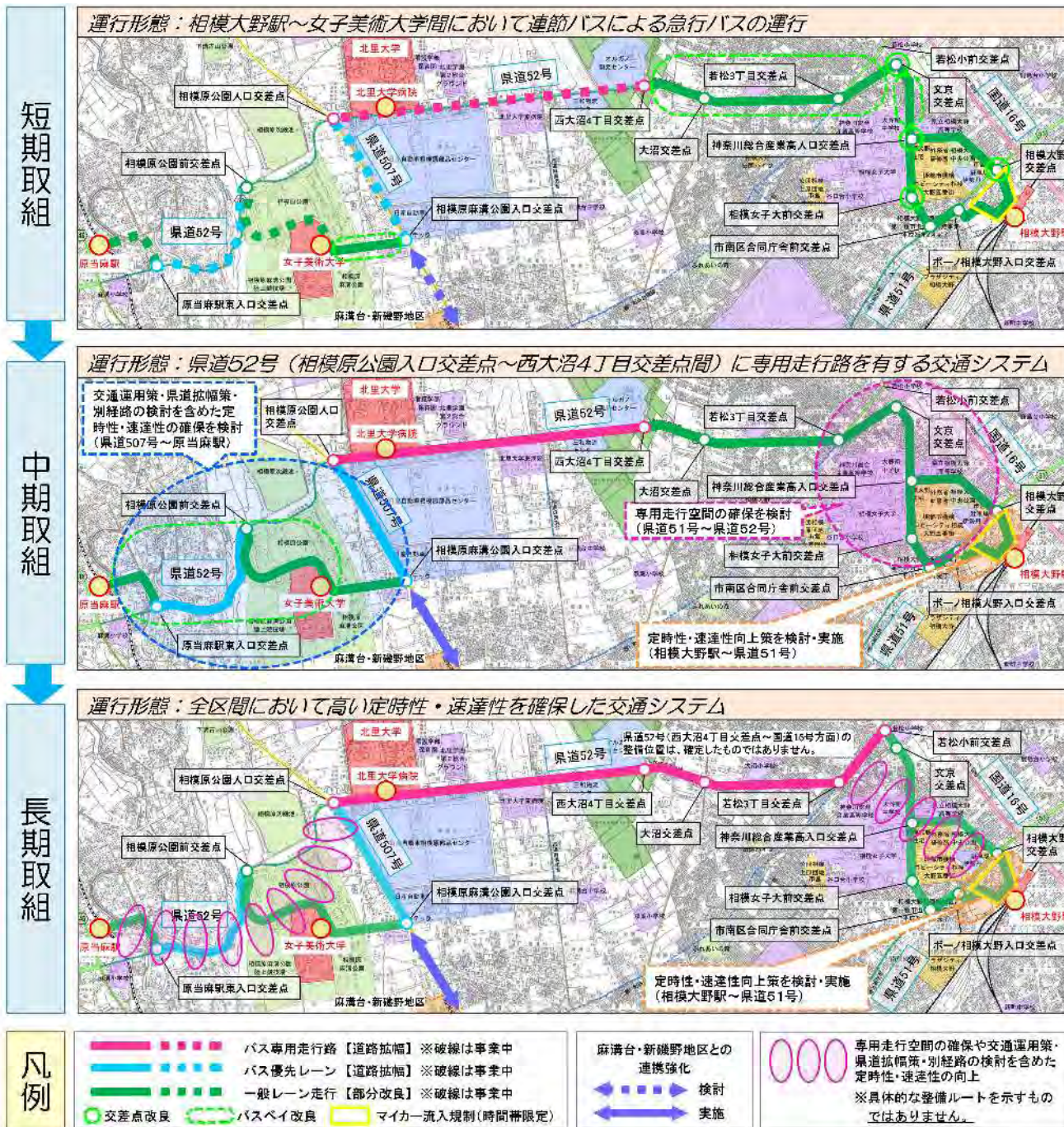
Vol.10

第11回新しい交通システム導入検討委員会を、10月7日（火）に開催し、前回までの検討経過を踏まえ、短期・中期・長期での段階的な整備による新しい交通システムの「整備計画案」の検討を行いました。併せて、整備計画を着実に推進するための進行管理方法や、中間駅の設置の考え方を整理するとともに、「整備計画案」について事業性の検証を行いました。検討委員会では、「整備計画案」の取組内容や運行形態などについて概ね合意されたことから、次回検討委員会では、導入に向けた課題の整理と答申案の検討を行っていきます。

事務局提案による新しい交通システムの「整備計画案」

短期・中期・長期での段階的な整備による「整備計画案」を次のとおり提案しました。この計画案は、県道52号拡幅整備の想定スケジュールを時間軸として取組内容、運行形態、運行ルート等の計画を表したものです。

整備計画案は検討委員会で検討中のもので、決定したものではありません。



想定する時間軸の考え方（時間軸の年数は目安の数値）

時間軸		取組目標	県道 52 号の整備（想定） （西大沼 4 丁目交差点～国道 16 号方面）
短期	基本計画策定後 概ね 3～5 年以内	・定時性・速達性の段階的向上 ・公共交通需要の掘り起こし	・拡幅整備事業未着手 ・部分改良等の暫定整備の実施
中期	基本計画策定後 概ね 5～10 年以内	・定時性・速達性の更なる向上 ・利用転換策の積極的な取組	・拡幅整備事業未着手 ・部分改良等の暫定整備の実施
長期	基本計画策定後 概ね 10～20 年以内	・定時性・速達性の確保 ・利用転換策の継続的な取組	・拡幅整備事業着手

全体的な取組と整備計画の進行管理

全体的な取組

全区間において定時性・速達性向上のための取組を重ね、システムの段階的な稼働を図る。様々なアプローチによる公共交通利用促進策に取り組み、新しい交通システムの利用者数増加を図る。整備進捗にあわせて、既存バス路線の再編や麻溝台・新磯野地区における新たなまちづくりとの連携強化等を図るとともに、ターミナルでの自転車や既存バス路線との連携（円滑な乗換え等）を進める。

整備計画の進行管理

進行管理（P D C A サイクル）は、進行管理組織により、目標達成度の評価及び施策・事業の進捗状況の監視（モニタリング）を定期的実施する。

第 11 回検討委員会での主な意見（整備計画案に関するもの）

- ▶ 段階的整備を進めるうえで重要となる県道 52 号の整備状況を明確に示す必要がある。
- ▶ 短期取組の中で、原当麻駅～女子美術大学間がどのような運行形態となるのかを示す必要がある。
- ▶ 相模大野駅～女子美術大学間を運行する既存バス路線など新しい交通システムと起終点を同じにするバス路線が新しい交通システムに移行する場合の考え方を示す必要がある。
- ▶ 麻溝台・新磯野地区や当麻地区の新たなまちづくりとの連携強化について、明確に示す必要がある。
- ▶ 県道 52 号や県道 507 号の拡幅時におけるバス優先レーン導入の考え方を整理する必要がある。
- ▶ 相模大野駅周辺地区でのマイカー流入規制の実施には、業務活動や有料駐車場への影響等を配慮したきめ細かな対応が必要である。
- ▶ 長期取組の中で、専用走行空間や交通運用策等を検討する区間を示す際は、具体的な整備ルートを想定したものではないことを明記すべき。

今後の予定

次回の検討委員会は、11 月 13 日（木）に開催予定です。新しい交通システムの導入に向けた課題等の整理を行うとともに、平成 27 年 1 月に予定する市長への答申に向けて答申案の検討を行う予定です。

新しい交通システムの導入検討に関する情報は市ホームページでご覧頂けます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/toshikotsu/20803/27891/index.html>

検討委員会の討議資料や議事録は、市ホームページのほか市行政資料コーナー（市役所本庁舎・南区役所）でもご覧頂けます。また、検討委員会は公開で開催しております。傍聴を希望される方は、詳細を市ホームページ等で確認の上、ご来場下さい。

新しい交通システムの導入検討に関するお問い合わせ・ご意見は

相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 交通政策課

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15

TEL : 042-769-8249 FAX : 042-757-6859 E-mail : toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp